

鏡川流域パートナーシップだより No.200 R7.2.21



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

ソトコト編集長・指出一正さんがオンライン交流会上に登場！



まちのコイン「ぼっちり」の広報を行う「ぼっちり広報部」が毎週木曜夜に開催しているオンライン交流会で、2月20日(木)に、「未来をつくるSDGsマガジン『ソトコト』」の編集長・指出一正さんをゲストにお招きしました！

令和3・4年度に実施した鏡川流域関係人口講座のメイン講師をお務めいただいた指出一さんから、二拠点思考(自分の住む地域と思いを寄せる地域を頭の中に複数持つこと)などのお話を聞きながら、鏡川流域関係人口の取組の現状や今後を考えました。



これまでの関係人口講座受講生も多く参加し、指出一さんに日頃の取組を共有したり、指出一さんからアドバイスをいただいたりと、交流の機会になりました。

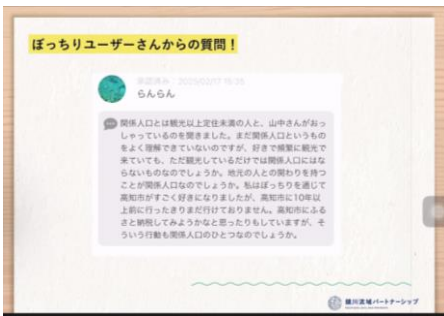
令和3年度～6年度の関係人口の取組を振り返りました！



講座2期生で、令和5年度に土佐山の桑元沈下橋での読書会「River & Reading」を開催した河野健吾さん。川での読書会のアイデアを指出一さんに質問していました。今後また、鏡川×読書の楽しい企画が生まれるかも？！



まちのコイン「ぼっちり」のユーザー様から届いたご意見も指出一さんにお聞きしました。遠方から関心を寄せ続ける中で、鏡川流域への関わりを強めていただければ嬉しいです。



3期生の藤澤佑介さん。ご自身が取り組むプロジェクト「役に立たない塾」や身近な自然を生かした「Feel度Walk」のお話に、指出一さんも興味津々^^

日頃から鏡川流域に関わっている人はもちろん、久しぶりに関わった人にとっても、刺激や学びの多い交流会になりました。指出一さんも大きな可能性を感じてくれている高知市・鏡川流域での関係人口の取組を今後も継続し、パートナーシップの輪を広げていきたいです。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！



※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。
<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>